

## 領域 8 インフォーマルミーティング

開催日時: 2017 年 3 月 19 日 12:30 - 13:30

開催場所: 大阪大学 L22 会場

### 出席者

領域代表 (任期: 2016/4 - 2017/3)

佐藤憲昭 (名大理)

領域副代表 (任期: 2017/4 - 2018/3)

常次宏一 (東大物性研)

運営委員 (任期: 2016/4 - 2017/3)

北川俊作(京大理), 石田行章 (東大物性研), 近藤晃弘(東大物性研), 那須譲治(東工大院理), 足立匡 (上智大理工)

運営委員 (任期: 2016/10 - 2017/9)

本多史憲(東北金研), 赤城裕(東大理), 笠原成(京大理), 鮎川晋也(青学大理工)

次期運営委員 (任期: 2017/4 - 2018/3)

速水賢(北大理), 道村真司(埼玉大), 岡本佳比古(名大工), 村川寛(阪大理)

13 : 30 頃の出席者数 : 20 名程度 (上記を含む)

## 1. 第 72 回年次大会サマリー

### 1.1 講演数

・総件数: 513 件 (cf. 2016 年春@東北学院大: 476 件)

[低温] 口頭 : 193 件, ポスター : 113 件

[磁性] 口頭 : 112 件, ポスター : 95 件

・APS と一部日程が重なっていたものの、発表件数は 1 年前の年次大会よりも多かった

### 1.2 プログラム編成のながれ

#### (1) シンポジウム日程を決定

・今回はすべて第一希望通りの日程を組めた。第 1 希望に組めない場合はメール等で提案者に確認する必要がある。

#### (2) 口頭発表

・低温と磁性のバランスを考えて配置した。

・使用できる部屋の数が多かったため、最終日 (3/20) の午後までセッションを組んだ。

#### (3) ポスター発表

・磁性、低温の 4 回分を要求し、希望通りとなった。

・ポスター会場が小さく、発表人数分の件数しか割り当てられなかった。

#### (4) 口頭発表とポスター発表の配置

- ・口頭発表とポスター発表の内容ができるだけオーバーラップしないように配置した。

### 1.3 報告事項, 注意点など

#### (1) プログラム編成会議

- ・今回からプログラム編成会議への参加は、現世話人代表、副代表と次期代表、副代表の4名で実施した。時間内に問題なくこなすことができた。

#### (2) シンポジウム

- ・主催のシンポジウム件数は原則3件
- ・提案されたシンポジウムについて、世話人で点数をつけて、順位をつけて申請し、上位3件が採択された。今回も4件目は認められなかった。

#### (3) 会場

- ・大学全体で大きな会場が少なく、会場の割り当てに苦勞した。

#### (4) 他領域との合同セッション (おもに低温)

- ・組み方は複雑
- ・基本はプログラムに「領域○○と合同」と記載すればよい
- ・例外は以下

マルチフェロ: 前回、今回は領域8が主催。次回は領域3かも。(要相談)

トポロジカル: 領域4,8,9が持ち回り。今回は合同希望なし。

電界効果: 今回は領域8が主催 (BiS<sub>2</sub>系超伝導と合体)。次回は領域7と相談

- ・過去に、「2連続希望したセッションと異なる領域で発表させられた」、という苦情あり(領域8ではない)。合同セッションを組む場合は、申請者の意志を配慮

### 2. 領域委員会報告

- ・学生発表賞に関して、学会からの説明があった。現在、各領域で賞の有無が統一されていない。学会として統一して実施する方向で検討を求められている。しかし、その内容は領域に一任するとし、場合によっては賞を設けなくてもよいとのこと。

### 3. 新領域代表, 副代表の紹介

- ・新代表 (任期: 2017/4-2018/3): 常次宏一 (東大物性研)
- ・新副代表 (任期: 2017/4-2018/3): 吉村一良 (京大理)

### 4. 次々期領域代表の推薦及び承認

- ・次々期領域代表候補（任期：2019/4-2018/3）：堀田貴嗣（首都大理）
- ・拍手をもって承認された。

#### 5. 次々期領域運営委員の推薦及び承認

- ・各運営委員（任期: 2016/10-2017/9）からの推薦  
松岡英一（神戸大理）[磁性(実験)], 品岡寛（埼玉大）[磁性(理論)],  
下志万貴博（理研 CEMS）[低温(実験)], 星野晋太郎（理研 CEMS）[低温(実験)]
- ・拍手をもって全員承認された。

#### 5. 議題

##### (1) 代議員選挙に関する領域 8 からの推薦の申し合わせ

- ・領域 8 から一定数の代議員候補者を推薦できるため、以下の手順に沿って行う。
  - ①メーリングリストで代議員候補者の推薦を募る。
  - ②領域代表が、募集結果を参考に候補者リストを作成する。その際、所属大学や分野のバランスを考え、必要に応じて、代議員選挙の食前に任期を終えた領域代表／運営委員やそれ以前の領域代表、運営委員などをリストに含めることができる。
  - ③上記のリストを領域運営委員に提示し、了解を得る。
  - ④領域代表は、候補者に、領域からの推薦による代議員候補者になることを確認する。
- ・上記、承認された。

##### (2) 一般企業社員からのメーリングリストへの登録依頼

- ・一般企業に勤務されている方からメーリングリスト登録の申請があった。営利目的の内容では使用できないので、運営委員が内容をチェックした後に送信する旨伝えたところ、社内で検討するとの連絡があり、その後、連絡は途絶えている。
- ・領域 8 運営委員の方針として、(i)メーリングリストへの登録は誰でも可、(ii)営利目的のメール投稿は不許可（モデレータ制度でその都度チェックする）としたい。
- ・物理学会内で統一基準を設ける、領域 HP に明記するなど、検討課題がある。
- ・上記について、異論はなかった。

##### (3) 学生発表賞について

- ・目的は、物理学会学術講演会における若手の優秀な発表を奨励し、学会をより活性化するため。現在は、実施している領域としていない領域がバラバラで、物理学会を冠する賞としては不適切な状況なので、統一的に賞を設立したいとのこと。
- ・受賞の対象と人数は各領域で決める。口頭発表またはポスター発表が対象。領域によっては賞を設けなくても構わない。
- ・実施時期は 2018 年春の年次大会より授賞を始める。

- ・他領域では、領域 3 や 10 他などですでに実施している。領域 8 だけ賞がないと、領域 8 の学生が就職の際などで不利を受けることが心配。
- ・他の領域と比較して領域 8 は規模が大きく、審査のやり方や負担の大きさなどで問題が多く、運営委員の事前の話し合いでは実施に前向きな意見は少なかった。
- ・国際会議ではポスター発表賞があるので、ポスター発表に限る方法もある。
  - ← 国際会議は口頭発表をするだけで業績になるので、ポスター賞がある。学会とは状況が異なる。
- ・口頭発表を奨励する意味で、口頭発表のみを対象にした方がいい。
- ・発表賞という名前が引っかかる。声が大ききはきはきと発表する講演が受賞するものか。発表内容も問うなら奨励賞の方がいい。
- ・対象を口頭発表に限定する、ポスター発表に限定する、どちらも対象とする、の 3 つで参加者に聞いたところ意見は分かれた。
- ・領域 8 で学生発表賞を実施するかどうか、参加者に聞いたところ、前向きな意見が多かった。
- ・実施を検討するにあたり、ワーキンググループを立ち上げて中身を検討し、それを基に次のインフォーマルで意見を募ることとした。ワーキンググループは運営委員代表、副代表などで構成する。

## 6. インフォーマルミーティング後の決定事項

- ・次期および次々期運営体制の決定

[任期：2016/10 – 2017/9]

代表：本多史憲

副代表：笠原成

Web・ML: 赤城裕

書記: 鮎川晋也

[任期: 2017/4 – 2018/3]

代表：村川寛

副代表：道村真司

Web・ML と書記は次の秋季大会で決定する予定

以上